

「組織のダイナミズム」研究会運営(案)

2018年1月31日(変更案:1月31日b)

1. 会の名称:組織のダイナミズム研究会
2. 会の目的 各自の調査・研究テーマの深耕、知的好奇心充足
3. 活動内容
 - 組織のダイナミズム関連を主体とする(ただし、途中で変更も可能とする)
なお、個人ごとのテーマは拘束しない
機会があれば企業訪問(全員、チーム、ワーキンググループ)も実施する
4. 運営方法
 - 4.1 会場確保:原則外部施設を借用、~~確保できない場合、専修大学を検討~~
 - 4.2 会費:当面は不要とする(会場費が多額になれば、2000円/年/人程度)
 - 4.3 例会の開催頻度:年8回程度とする、年初に日程を確定する
 - 4.4 例会の開催日:原則第4土曜日午後
 - 4.5 合宿:9月に開催予定
 - 4.6 例会の時間配分:事務事項(日程調整・発表者決定等)は30分以内とする
 - 4.7 例会の連絡手段:原則メールとする
 - 4.8 特記事項:新しいメンバー(できれば若い人)の確保に努める
5. 役員
 - 5.1 代表(1名):会の代表者
 - 5.2 幹事(1名):会の諸作業の実施責任者、代表の補佐
 - 5.3 副幹事(1名):幹事の補佐
 - 5.4 会場係(1名):会場の予約作業の実施責任者
 - 5.5 副会場係(持ち回り):~~当日の会場準備・整理作業、会場係の補佐~~
~~(2回担当ごとに持ち回りとする)~~
 - 5.6 会計(1名):会の会計業務担当~~(原則毎回参加出来ることが望ましい)~~
 - 5.7 会計監査(1名):会計業務の監査担当
6. 会員とその役割
 - 6.1 会員:本会の役員および役員以外のメンバーの総称
役員も会員であるので、会員の役割をあわせもつこととする
会員は初回開催以降に申請する [それまでは連絡はI&ODレギュラーMLを使用]
~~(ただし、本会の会員募集はI&OD一般MLで案内する)~~
 - 6.2 例会での発表:会員は年に1回以上発表(発表1時間、討議1時間)
 - 6.3 発表内容など
 - 常識の範囲であれば発表内容は上記活動内容以外でも可とする
例:技術[AI、量子コンピュータなど]、組織[働き方改革など]、趣味
自分で発表する代わりに発表者の紹介でもよい(紹介者が内容等調整)
本紹介でも可 [昨年の合宿方式]
1回の例会で1名～2名が発表
 - 6.4 例会の総括項目
 - 原則2年後に報告書を作成 (強制はしないが全員)
報告書は電子書籍として販売を検討する
7. 例会開催案内・発表資料
 - 7.1 例会開催案内:発表案内メールの発信、当日の司会は幹事・副幹事が行う
 - 7.2 発表資料:発表資料の提供(事前・事後)は強制しない
発表資料の紙媒体での配布はしない
 - 7.3 記録は開催案内をもとに簡単に作成する[不要?](重要決定事項は簡単に追加する)

* 規約では削除:メンバー募集はI&OD一般MLで行う

以上